



県議会議員講座「こんにちは！県議会です」開催概要

令和6年12月12日（木）14時25分～15時15分

宮崎県立都城商業高等学校 3年生 149名

講師：本田 利弘 議員

松本 哲也 議員

開催内容

- | | |
|------------------|--------------|
| ① 学校あいさつ | ④ 県議会議員活動の紹介 |
| ② 講師自己紹介 | ⑤ 質疑応答 |
| ③ 県議会の仕組みや役割等の説明 | ⑥ 生徒代表あいさつ |

○ 講座内容

講師である本田利弘議員、松本哲也議員の自己紹介のあと、県議会の役割や仕組み、県議会の動きを知る方法、意見を県議会に伝える方法などについて、スライドで説明したほか、議員活動等について、生徒から質問を受けました。

【質問】

県議会ホームページで松本議員がカーボンニュートラル推進対策特別委員会の副委員長をされていることを知った。この委員会では、主にどのような活動をされているのか教えてほしい。

【松本哲也 議員】

地球温暖化や気候変動などの問題については、皆さんもテレビ等で目にしたことがあると思う。これらの問題への対応として、県庁では二酸化炭素排出削減などを検討している。

そして、カーボンニュートラル推進対策特別委員会では、これらの問題の解決に向けてさまざまな部署と連携しながら調査を行い、一年間の学びをもとに知事へ提案を行う。私は副委員長として委員会の活動を補佐している。

【質問】

若者の投票率を上げるために、被選挙権を18歳に引き下げるのが良いのではないかと考えているが、お二方はこのことについてどう思われるか教えてほしい。

【本田利弘 議員】

被選挙権の年齢要件は現在25歳や30歳以上とされているが、選挙権が18歳以上に引き下げられたことを踏まえ、被選挙権も引き下げを検討しても良いのではないかと思う。千葉のNPO法人代表が年齢制限に異議を唱えて裁判を起こしている例もあり、関心の高い問題。議論を重ねた上で、引き下げは十分に検討に値すると思う。

【松本哲也 議員】

私も、被選挙権の年齢要件を引き下げても良いのではないかと思う。

信念ややりたいことを持つ若い人たちと議会で活動し、その感覚を反映させることは重要である。異なる年代や考えを持つ人が立候補し、多様な意見を発展させていくことが大切だと思う。



(本田利弘 議員)



(松本哲也 議員)

【質問】

議員活動でもらっている報酬について調べたところ、70万円から80万円くらいということを知った。お二方はこの金額について、多いのか少ないのか率直なご意見を聞かせてほしい。



【本田利弘 議員】

私たちの報酬は公開されており、宮崎県内では高い金額だと思う。ただ、その分以上の仕事をしなければならないと考え、日々努力している。この金額が多いか少ないかの判断は難しいが、それに見合う働きをしていきたいと思っている。



【松本哲也 議員】

皆さんは多いと感じると思う。私もそう思うし、それに応えるだけの活動をしなければならないと考えている。この報酬に恥じないよう、皆さんに誇れる活動を一生懸命頑張りたい。

【質問】

私たちに議員という仕事をおすすめするか教えてほしい。



【本田利弘 議員】

私は議員としての活動にやりがいを感じている。政治はどこか遠いところにあるものと感じているかもしれないが、県をより良いものにしたいという志を持つ方がいれば、ぜひ議員を目指していただき、宮崎県のために一緒に取り組んでいければと思う。



【松本哲也 議員】

議員の仕事は、自分の信念や理想とする社会を実現できるもの。市議会議員や市長など、さまざまな選択肢があり、熱い思いや郷土愛を持つ人にぜひ挑戦してほしいと思う。そのために今からしっかり勉強し、大きな夢を持って取り組んでほしいと考える。

○生徒代表あいさつ

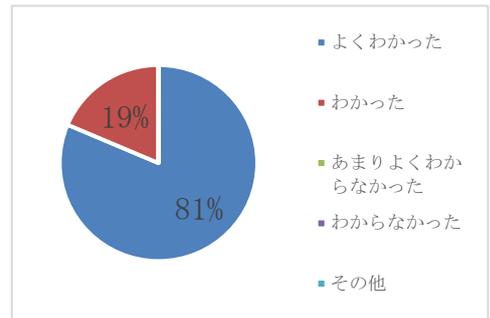
本日は本田議員と松本議員から政治に関する実際の話聞くことができ、本当に勉強になりました。今後も社会に目を向けて、そして政治に関心を持って人生を歩んでいきたいと思いました。本日は貴重なお時間をありがとうございました。



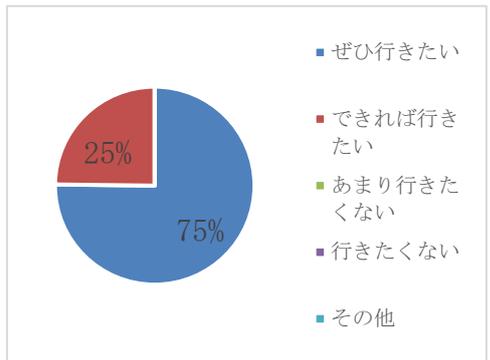
○ 受講された生徒の皆さんへのアンケート結果

- ・ 私は政治に興味があるので、今回の話を聞いて、実際に県議会の傍聴に行ってみたいと思いました。
- ・ 若い世代である私達が投票に行くことで、若い世代の意見が政治に反映されるということを改め実感しました。私も18歳になり、投票権を持っているので、投票をする機会があれば、ぜひ行ってみたいと思いました。議員の方々は、宮崎県をさらにより良いものにしていくために尽力して下さっていることが伝わりました。
- ・ 生活の中で政治に関わる機会は多くありませんが、政治と生活は深く結びついているため、政治にまつわる話を聞きつつ、今後の選挙のためにも政治的なことを注視していきたいです。
- ・ 自分たちの意見を伝えるためには、どうせ伝わらないからではなく、少しでも多くの声を届けると意識を持ちたいです。県議会の方々には任せっきりの政治ではなく、一人一人が住んでいる地域を守っていくという生活を心がけて、投票などにも積極的に行きたいです。
- ・ 今回お話を聞いて議員さんは私たちが思っていた以上に自分たちの身近な課題について様々な対策を行って下さっているということが分かりました。あまり議員さんから直接お話を聞く機会はないのでとても良い機会だったと思います。またこのような機会があれば良いなと思いました。自分でも県議会について調べてみたいです。
- ・ 「人のために動く」、「人のためになる」そういう思いが伝わりました。人のために何かをする事は簡単な事じゃなく、県議会議員になると、県のために動いていて、とても心が動きました。
- ・ 今回、県議会議員講座を聞いて、議員の活動や本田さん、松本さんの意気込みなどとてもおもしろい内容でした。政治について、私は、あまり知らない部分が多く興味を持てませんでした。お二人の話を聞いて、政治について改めて考えることができました。一人一人の意識がこれからの社会を変えていくと思うので、今日学んだことを忘れず生活していきたいです。
- ・ 生徒の一步踏み込んだ質問にも正直に、笑いを交えて答えて下さり、すごく分かりやすかったです。私も18歳になったら投票にまずは行ってみたいです。
- ・ 前回の衆議院選挙では宮崎市の方で自分は投票をしました。今、一番問題と考えていることは有権者の半分が投票に行っていないことだと考えていたので、今回の話はとても自分にとっていい刺激となりました。これからも絶対に投票に行って、いい日本になるために役立ちたいです。

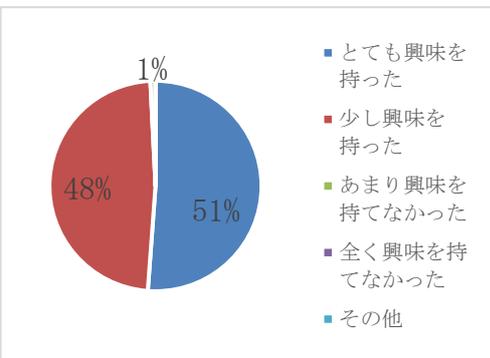
問1 講座の内容はわかりやすかったですか。



問2 有権者になったら投票に行ってみようと思いましたか。



問3 県議会やお住まいの市町村の議会の活動に興味がありましたか。



※アンケート回答数 129名